

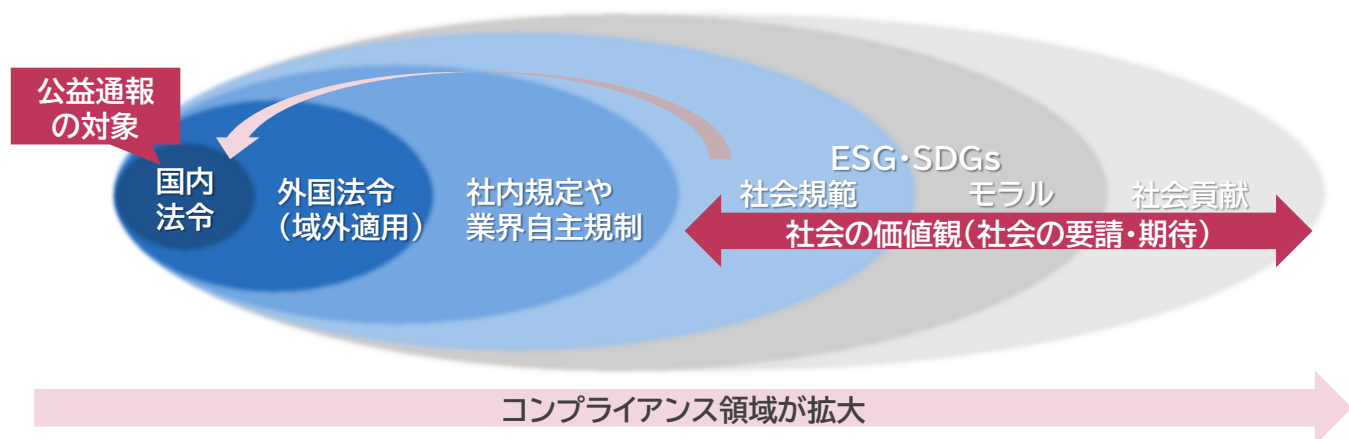
# 拡大し続けるコンプライアンス



## 現代社会における コンプライアンスとは..

コンプライアンスと直訳すると「法令遵守」です。「コンプライアンスを遵守しろ」は「不正をするな」とほぼ同義であり、行政で定められた法律や条例など“社会のルール”を遵守することがこれまでのコンプライアンスでした。

しかし昨今では社内規範や倫理観、社会的倫理などの遵守を含む言葉として浸透しつつあります。法律や会社のルールにくわえて、一般道徳で考えられる「していいこと」「してはいけないこと」、つまり“社会の常識”が含まれているということです。



## 常識の変化に適応

この社会の常識こそがコンプライアンス経営を難しいものにしている原因です。常識は価値観と共に変化します。ここ数年を振り返っても社会の価値観が大きく変わりました。例えば、ダイバーシティ（多様性）の尊重や、各種ハラスメントへの対応、環境保護、ジェンダー平等などが重要視されるようになりました。



今から20年前の常識を守っていたとしても、現代社会ではその価値観が問題視され市場から厳しい批判にさらされることもあります。次の10年で社会の価値観は変化することでしょう。「単に法律を守っていればいい」というものではなく、それぞれの時代背景にあわせた倫理観、価値観を理解することが重要なのです。